

一般社団法人日本看護学教育学会

第35回 学術集会

教育活動委員会企画



実践から学び成長する看護教員であるために

～対話・協働・リフレクション～

講師：渡辺貴裕氏

(東京学芸大学教職大学院 准教授)

リフレクションをめぐる誤解

1. 実践や見学をしたあとに「リフレクションシート」など書かせるやつ？
2. 目標と照らし合わせて達成度を評価し、手立ての有効性を検証すること？
3. (学校教育の場合) 子どもにやらせるもの？

授業検討会って

●●ができていた/できていなかった、とか

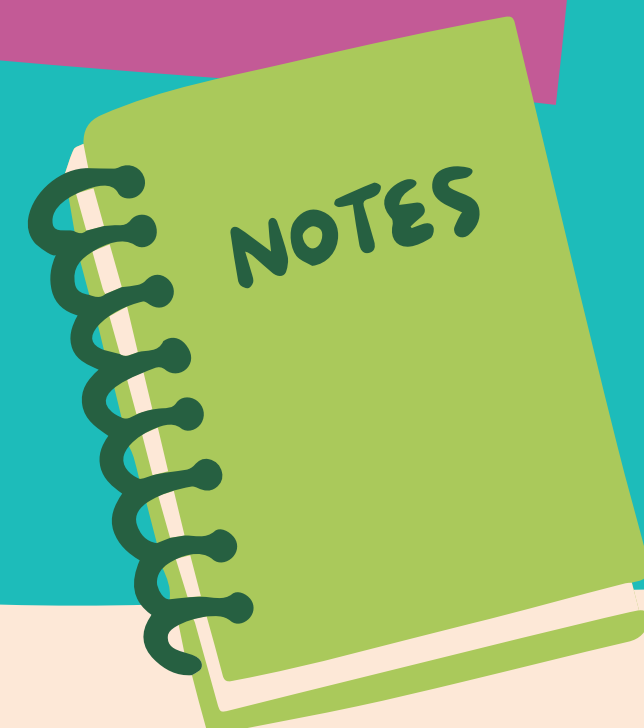
もっとこうすればいい/ああすればいい、とか

評価と助言を言い合うやりとり？

本当かな？

日時：2025年8月29日（金）15時 ～ 16時30分

場所：北海道 北見工業大学 第13会場 C122教室



当日の様子



講師：渡辺貴裕氏
(東京学芸大学)



茂野委員長による
講師のご紹介からスタート！

ご近所同士で話し合い

そだね～



あるある



Ah, Ha体験！

腑に落ちた～

ですよね～

まずは講演を聞いて「なるほど～」



ちなみに：会場までの道のり



女満別空港



高速バス



バスからの景色



北見駅の玉ねぎ



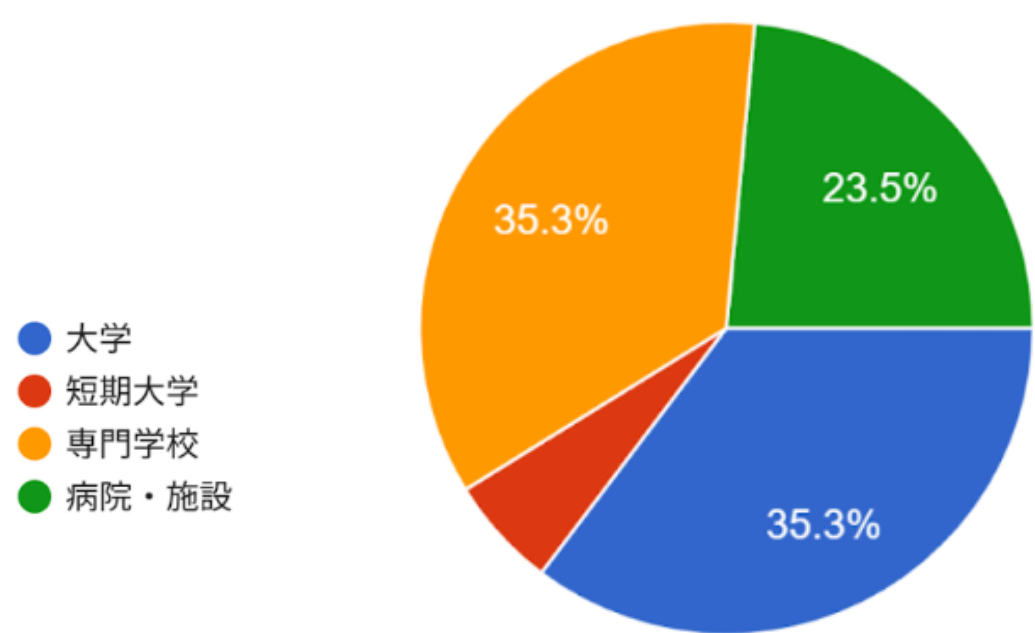
北見工業大学

研修参加者からのアンケート集計結果

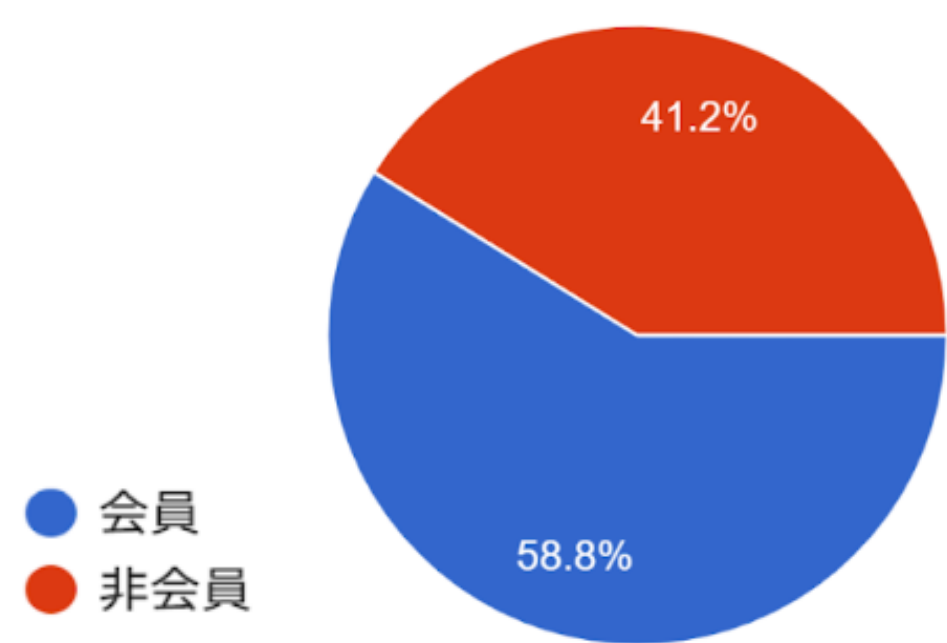
参加者：35名

アンケート回答者：17名（回収率48.6%）

所属機関を教えてください。
17件の回答



日本看護学教育学会の会員の有無を教えてください。
17件の回答



職位を教えてください。
17件の回答



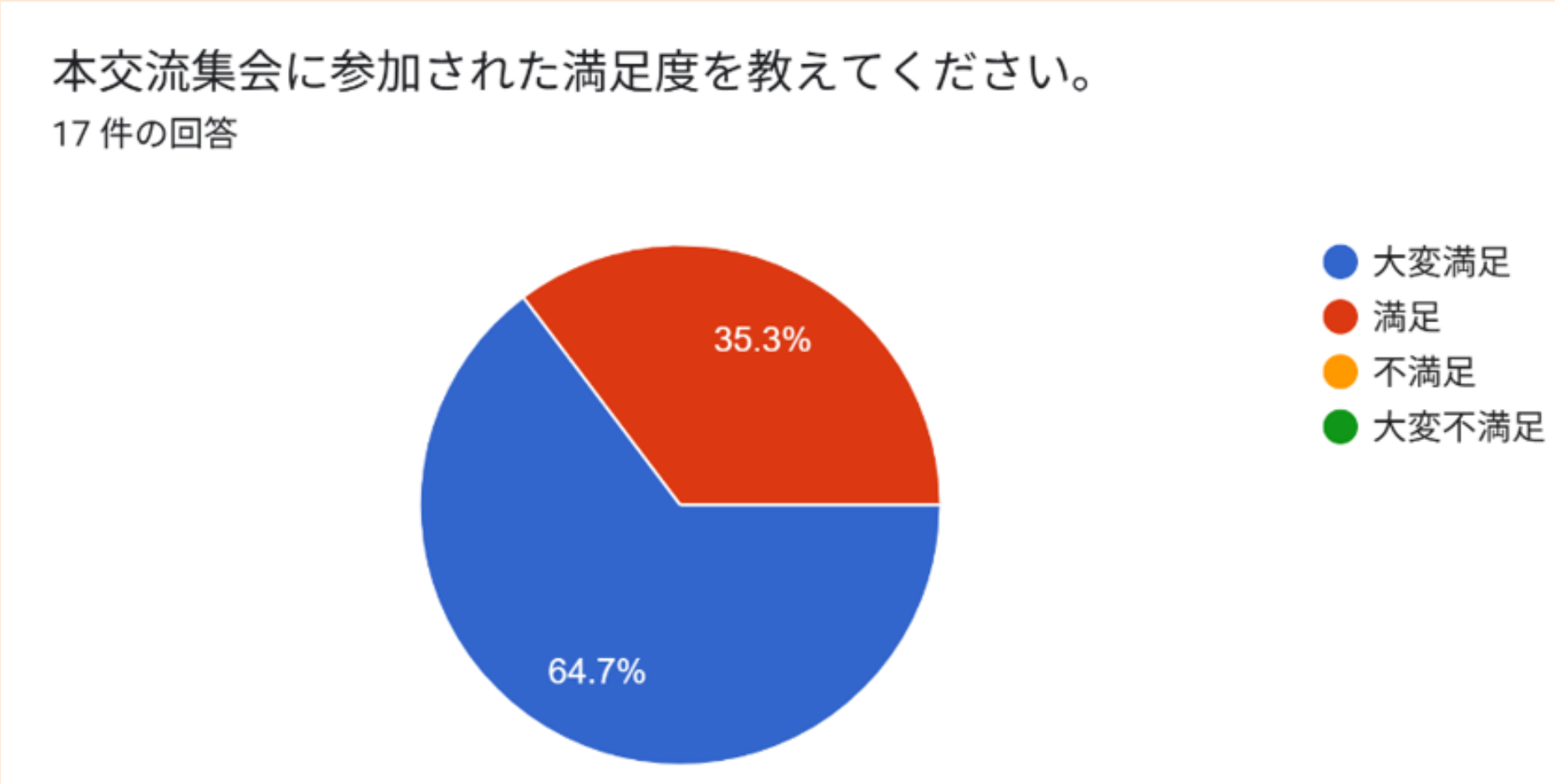
回答者の教育経験年数

回答者	臨床経験	臨床指導者	教育	管理職	合計経験年数
1		2			2
2		3	2		5
3			15		15
4			16		16
5			30		30
6			2	3	5
7			10	8	18
8			7		7
9	25		8		33
10				10	10
11			12		12
12	12		8		20
13		10	14		24
14		1	15		16
15		2	22		24
16		8	11		19
17	その他				
平均年数	18.5	4.3	12.3	7	16

本企画に参加した理由

リフレクションに興味があった。
リフレクションの正しい認識・取り組み方を知りたかった。
自分自身の成長につなげたかった。

参加した満足度



満足度の理由

日々臨床の場で起こっている事例に、ひきつけて考える時間がもてた。
リフレクションについて、モヤモヤしていた部分が腑に落ちた。
リフレクションに対する疑問解決に少し繋がった。
リフレクションが、学生と教員が共に成長できる方法として、ヒントをもらえた。

教育実践や看護実践に役立ちそうと思ったこと（抜粋）

リフレクションは、「させる」ものではなくて協働であること。
リフレクションとは、「教員が学生にやらせるもの」という認識の教員が多いと思うので、双方向のものであることを伝えることから始めたい。
リフレクションとは、鏡のように関係性が反映されること。
リフレクションについての理解をもっと深める必要がある。

本企画の内容・展開方法についての意見（抜粋）

渡辺先生のお話がとても良いので継続して頂きたい。
今回のテーマでは良かった。
とても分かりやすく理解しやすい内容でした。

本企画に参加した感想など、自由記載（抜粋）

教師教育学の先生から話を聞ける機会はありませんでしたので、貴重な機会を作ってもらった。
時間があっという間に過ぎて、もう少し聴きたかった。
看護以外の分野の方の視点は新鮮でした。医療ではない分野の方々との交流は、積極的にしていきたい。
リフレクションに対して再認識できてよい学びになった。

今後取り上げて欲しいテーマ（抜粋）

リフレクション・対話等、教育者が教える側と対等な関係性を築くための方策
他分野の先生のお話。

♡♡♡
理事会企画にご参加いただき、
ありがとうございました！♡♡♡

企画・運営者：教育活動委員会

委員長：茂野香おる（天理大学）
副委員長：水方智子（松下看護専門学校）
委員：栗原幸子（沖縄県立看護大学）、坂下貴子（淑徳大学）、曾田陽子（元愛知県立大学）、
中村幸代（淑徳大学）、西田好江（泉佐野泉南医師会看護専門学校）
和田裕子（砂川市立病院付属看護専門学校）